





<p>⑥現状及び課題</p>	<p>整備対象地については、震災後から現在まで除染土の仮置場として利用してきたものの、その利用が R4年度内に完了する。地元住民の意見としては、完全な現状復旧（震災前はグリーンパークという施設で野球場やテニスコートがあった）を望んでいるわけではなく、除染関係の復旧については更地にする程度で完了する予定。今後は都市計画課にて新たに利活用できる施設を整備したいと考えているが、整備内容などの具体的な計画が決まっていない。</p> <p>旧対象敷地が広大であるため、建設費用が大きくなると思われるが、財源が決まっていない。どの程度の民間活力の利用が可能か、また管理運営維持管理をしていくうえで採算がとれる施設を整備できるかを検討していかなければならない。</p>
<p>⑦前提条件</p> <p>※事業化にあたって事業者 に考慮してほしい事項等を簡 潔にご記入ください</p>	<p>周辺施設との連携を図りたい。</p>
<p>⑧事業スケジュール（予 定）</p>	<p>令和5年度 設計委託・各関係機関協議 令和6年度 工事着手</p>

(2) 対象地	
① 所在地（交通情報含む）	福島県南相馬市原町区地蔵堂 68-1 外 （JR 原ノ町駅から車で約 10 分、常磐道南相馬 IC から車で約 15 分）
② 敷地面積	約 30ha
③ 土地利用上の制約	都市計画区域内 無指定 60/200
④ 所有者	南相馬市
⑤ 周辺施設等	<p>○北泉海岸 震災前は約 8 万の観光客が訪れる海水浴場だった。過去にはサーフィンの世界大会が実施されたこともあり、サーフポイントとしても有名。</p> <p>○北泉海浜総合公園 約 14ha の市内最大級の公園。年間を通して利用者が多い。広場、トイレ、散策路、複合遊具、シャワー施設等があり、施設が充実している。中でも垂直に近い滑り台や 27m ほどのチューブ滑り台があるわんぱく城や、滑走距離の長いローラー滑り台など、複合遊具が魅力的な公園。</p> <p>○メモリアルパーク 「震災の記憶を未来へつなぐ」をコンセプトに、「震災の記憶を後世に伝承していく場所」として、また「鎮魂及び慰霊の場として海を眺めることができる高台」として、南相馬市が整備。R2 年度完成。1.5ha の面積に広場、駐車場、記念碑、モニュメントなどがある。盛土造成により高台となっているため、海を一望できる。</p>
⑥ 対象地周辺の環境	沿岸部に立地。 震災後の防災集団移転などにより、周辺に住宅はあまりない。
⑦ その他 （上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等）	以前、隣接する北泉海浜総合公園にはキャンプ場、オートキャンプ場や入浴施設が存在したが、津波の被害を受け消失した。災害危険区域となったことを理由に復旧しなかったが、震災から 10 年以上が経った今、沿岸部にキャンプ場などの建設の要望が寄せられるようになった。（整備予定の約 30ha は災害危険区域ではない）

■ 添付資料

- 資料 1\_\_南相馬市の概要
- 資料 2\_\_位置図・航空写真
- 資料 3\_\_敷地内写真